

# 中川接骨院だより

2024年 6月1日発行 第232号

## からだの雑学

### わきの下にグリグクのできるワケ

体内には、血液のほかに、リンパ液が流れています。血液は赤い色をしています。リンパ液は、赤血球がないので透き通っています。このリンパ液は、血管の壁から外ににじみ出た血液の水分で、その一部は再び血管に戻りますが、大部分はリンパ管に入ります。だから、リンパ管は心臓へ帰る道だけしかありません。リンパ液の中に、リンパ球という細胞があります。



#### ■グリグリの正体はリンパ節のハレ



これは赤血球の仲間で、細胞など外からの敵を、抗体という特殊兵器でやっつけ、全身に広がるのを防いでいます。また、リンパ液のもう一つの役目は、栄養物を運ぶことです。腸で吸収された脂肪は、リンパ管で運ばれます。

リンパ管のところどころに、リンパ節という関所があります。唾液腺や甲状腺のように何かを分泌する気管ではなく、免疫を担うリンパ球のたまり場です。卵形または豆形の気管です。

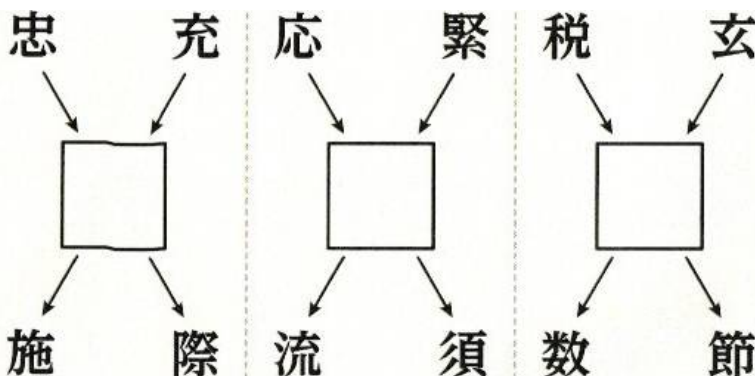
体外から細菌が侵入してくると、まず、白血球がこれと戦います。白血球は血液から出て細菌を取り囲み食い殺しますが、自分も死んでしまいます。化膿した時に出る膿は白血球の死骸なのです。白血球のうち、勝った細菌は、リンパ液に混じってリンパ管に入り込み、リンパ節の所まで攻め込んできます。

すると、待機していたリンパ球がこれを捕捉して食い殺してしまいます。

だが、細菌が強いとリンパ球がどんどん増えて、リンパ節が腫れてきます。この腫れが、グリグリの正体なのです。グリグリ(リンパ節炎)のできやすいのは、あごの下、足の付け根などのリンパ節です。風邪などを引くと、よくあごの下のリンパ節がはれますが、これは、細菌との戦いのさまを物語っています。

からだ雑学事典 日本実業出版社から引用

## 矢印の方向に読むと熟語になります。



漢字一字を入れてください

読み方も大切です

## 当院での症例 妊娠7ヶ月で左股関節と腰痛を訴える女性

高岡市在中 32歳 女性

### 【問診】

2人目の妊娠で2ヶ月前から起床時と約30分の歩行で腰痛と左股関節痛を訴えている。  
妊娠7ヶ月目、横になり身体を休めると楽になるとのこと

### 【検査・テスト】

左腸腰筋(左側の骨盤を支える筋肉)が低下と左側の骨盤が前に傾き  
左の恥骨が下方に変位して、更に 左仙腸関節の圧痛あり 左股関節  
の開脚の制限がありました。

### 【施術】

ブロックを使用し仰向けで左前方腸骨を矯正、左の恥骨が下方に変位を足方より頭方に圧着し矯正、左内転筋と左腸腰筋の筋力が回復、骨盤の動きを確認し治療終了 骨盤ベルトを装着するように指示

二回目(8日後)

前回と同様な施術股関節痛と腰痛は歩行痛はかなり軽減

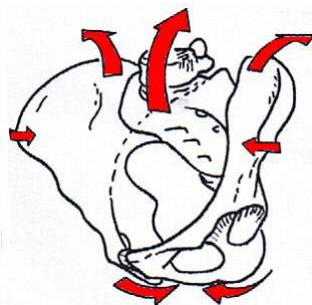
三回目(15日後)

前回と同様な処置

10→2まで改善

### 【考察】

骨盤を構成する仙腸関節は、強靱に外力に抵抗する力をもっており、仙腸関節の傾きは、骨盤の安定に重要な要素です。しかし、仙腸関節面の形状は耳介状の面をもち、個人差が非常に大きい為、左右の仙腸関節面が形態的に異なることが多く、仙腸関節がより垂直に近かったり、非対称である場合、仙骨から腸骨に直接連結する筋肉はない為に、その安定は靭帯にすべて負うこととなります。



**※ 早期の治療は関節を元の状態に戻し、後遺症を残さないためにも重要です**

急性の外傷、疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正には**カイロ治療**が効果的です。

カイロ治療は、真の原因をさぐり全身的な治療を施します。

初診料(検査) 2,200円

治療料 4,400円

回数券 [5回券] 21,000円 回数券 [10回券] 36,000円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査)2,200円は別途必要です

### 編集後記

妻と二人で諏訪湖周辺にある諏訪大社の参拝と松本城の観光に行ってきました。諏訪大社は一つの神社を指すものではなく、諏訪湖の周囲にある2社4宮の総称です。上社と下社があり、上社が本宮・前宮、下社が秋宮・春宮に分かれる二社四宮が鎮座しています。春宮は車の駐車が出来ず参拝を断念(ゴールデンウィークなので仕方なし.....)初日は、浅間温泉に泊まりゆっくりと体をいやすことが出来ました。

2日目の松本城の観光では朝9時に到着にもかかわらず大勢の人手で松本城の入場券を買うのに90分、更にお城に入る為の長蛇の列が続き大変でしたが、国宝の松本城とあって展示してある火縄銃や歴史、城の作りについての説明など並んで観るだけの価値はあったと思います。



### 診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時00分

土曜日 午前8時30分～午後12時00分

自由診療 随時受付 TEL26-5755

午後3時00分頃～午後7時(30分前まで受付)

日曜・祝日は休診

熟語の答え

